

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 73
ID 603207

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館											
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会 「コミュニティわかつき」							法人番号	2700150073954			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副							
構成施設	3377	若槻公民館										
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	会議室(大・中・小) 各1、三登山ホール 1、料理教室 1、図書室 1、体育館 1											
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。											
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。											
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業											

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会 「コミュニティわかつき」				当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	令和6年4月1日		～	令和11年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	3
	利用者数	人	22,845	24,927	26,925	26,524	99%	
	利用率	%	31.3	32.6	33.2	30.7	92%	
	(特記事項) 利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均(図書室を除く)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・若槻公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・若槻公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・若槻公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務						
	自主事業	提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 3回／年 発行(全戸配布)。公民館ブログの更新により情報発信を行い、公民館活動の広報をした。 ・上記のほか、講座の開催案内にあたり、区長等の協力を得て、毎月回覧を行った。また、マスメディア(週刊長野・信濃毎日新聞・市民新聞)も活用した。 ・近隣の公共施設(保健センター、市立公民館、児童館など)にちらしの掲出を依頼した。						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		
	(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。			
	(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座：21講座(77回) 講座参加者数：1,691人 うち アンケート回答者数787人 満足：89.5% やや満足：9.6% やや不満：0.6% 不満：0.3% (満足、やや満足の合計 99.1%)			
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・三登山講座の風土と歴史講座、特に館外講座は終了後しばらく来館者の間で話題になっていた。 ・三登山講座のクリスマスコンサート、生の演奏を聴いたことがよかった、演奏の質が素晴らしかったなど、多くの感想が寄せられた。または是非聞きたいとの声も多数聞かれた。その後のお出かけ芸術館コンサートに至っては1ヶ月以上たっても来館者の話題になっているほど。 ・はじめてのフワ講座、参加された方の要望で、是非継続的にとの声が多かったため、2回目を企画したが講師急逝のため実現できなかった。		4
		(2) 苦情・改善等の要望事項 ・「講師の話が期待したものと違った」との声をわずかながらいただいた。 ・場所によって暑かったり寒かったりする。エアコンは何とかならないか。(対応①) ・マイクの音がうるさい、よく聞こえない。(対応②) ・明るくてプロジェクターの映像がよく見えない。暗くてメモがとれない。(対応③) ・体育館が暑すぎる。エアコンを入れてほしい。(対応④) ・階段が急すぎて登れない。(対応⑤) ・駐車場がいつばいで車を止められない(対応⑥) 《対応措置》 指定管理者において次の対応しました。 ・講師については、話すことに慣れていない方もいたため、事前に十分打ち合わせをしたが、対応が十分でなかった。今年度はその点も踏まえた講師選定をし、場合によっては職員が講座の進行コーディネートするようにする。 ・施設等については「市にお願いしています」と前置きしたうえで次のような対応をした。 ①扇風機を用意して空気を攪拌したことで、わずかながらではあるが温度差を解消した。 ②アンプを置く位置の工夫、マイクの持ち方やつけ方(ピンマイク)を講師と事前確認、をした。 ③スライドの内容を事前にチェックし、ある程度の明るさがあっても見える場合は、前面のみ消灯した。全体を消灯する場合は「映像を詳細に見るようにしたい」という講師の願い、事前に受講生に伝えるようにした。 ④スポットクーラーの排気口付近の地窓を開けられるよう網戸を設置した。 ⑤1階の料理教室にホワイトボードを入れ、料理以外の講座でも使用できるようにした。 ⑥駐車場の状況を事前に予想し、満車になりそうときは職員が駐車場案内(整理)をした。		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
	指定事業	年度計画額		収支実績額		歳入	令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	利用料金	2,720,000	利用料金	3,352,000	使用料	1,150	使用料	1,350			
	指定管理料	14,906,000	指定管理料	14,906,000	雑(納付金)	0	雑(納付金)	0			
	委託料	0	委託料	0	行政財産目的外使用料	6,000	行政財産目的外使用料	6,000			
	販売収入等	0	販売収入等	0	貸付料	0	貸付料	0			
	その他収入	40,500	その他収入	67,048	その他	0	その他	0			
					利益配分	0	利益配分	0			
	収入計	17,666,500	収入計	18,325,048	計	7,150	計	7,350			
	人件費	9,729,302	人件費	10,271,921	指定管理料	14,906,000	指定管理料	14,628,000			
	設備管理費	255,444	設備管理費	267,780	委託料	0	委託料	311,300			
	備品購入費	100,000	備品購入費	415,470	需用費	0	需用費	0			
	修繕費	150,000	修繕費	186,648	役務費	0	役務費	0			
	光熱水費	2,200,000	光熱水費	2,009,513	使用料・賃借料	2,599,896	使用料・賃借料	2,774,248			
	事業費	3,082,400	事業費	2,984,974	修繕費	0	修繕費	59,400			
	事務経費	1,249,354	事務経費	1,983,707	工事請負費	0	工事請負費	0			
	本社経費	0	本社経費	0	備品購入費	0	備品購入費	0			
	その他	900,000	その他	886,600	その他	0	その他	0			
			利益配分	0							
	支出計	17,666,500	支出計	19,006,613	計	17,505,896	計	17,772,948			
	指定事業損益	0	指定事業損益	-681,565							
	利益配分を除く 指定事業損益	0	利益配分を除く 指定事業損益	-681,565							
	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
	損益	0		-681,565	差引	-17,498,746		-17,765,598			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								54.0%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分			確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員2人(2人)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の 維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☒	
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニ タリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4			
<table border="1"> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th><th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th></tr> <tr> <td> 1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。 </td><td></td></tr> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 66
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	

評価理由	【利用者評価を4とした理由】 講座について、口コミで評判となるものや開催回数の増加を希望する声があり、アンケートでも高い評価を得ていること。受講生の要望に応じて講座を増設するなど、柔軟な利用者対応を含め、職員の接遇面も高く評価されていること。を評価した。 【地域連携を4にした理由】 住民自治協議会の各部会や地域公民館との連携して事業を実施していること。地元の人材を活用した講座を多数開催していること。を評価した。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。		

指定管理者自己評価			
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み ・講座をはじめ公民館で行われている活動の紹介パネルの展示 ・地域の皆様からお借りしたCDを流す ・月変わりの展示スペースおよび内容を増やす。 ・展示物を季節に合うものにするなど、来館者の心が和む展示や花等による環境づくり。 ・館内の清掃をはじめ環境美化に時間を割く。 ・成人学校とサークルのつなぎ、地域住民とサークル等のつなぎを積極的に行う。 等 ② 業務の効率化に対する取組み コミワカの予算決算と市から示される予算決算の項目立てが違うため、2倍の業務が必要であったが、コミワカ用の会計システムの項目を簡易的に細分化し、市の項目にも対応しやすくした。(しかし、予算書決算書を2つ作らなければならない負担は変わらない) ③ その他 ・スポットクーラー排気口となる地窓に網戸を設置、夜間でも虫が入らなくなり安全に使用できた。 ・旧式で使用に危険を伴った断裁機を購入 ・職員研修を行い、次年度の新規講座立ち上げにつなげる。			
(2) 指定管理者業務実施上の課題 ・講座参加希望者が増加しているが、駐車所が狭い、体育館にエアコンがない、大会議室のエアコンが旧式、階段が急で、安易に参加希望を受け入れることができない。また、現状では来館者に負担をお掛けすることが多々ある。課題解決のためには設備の改善、さらには建て替えが必要か。			
(3) 総合評価 ① 評価理由 施設、設備上の課題は満載ではあるが、職員の工夫と、来館者のご協力により、実りある講座運営、貸館業務等がなされている。 ② 次年度以降の取組み ・講座については、来館者や地域住民のニーズを探るとともに、これからの社会情勢や地域の在り方を鑑み新規開設や修正等を加えていく。具体的にはそば打ちで、6週連続の講座、等を計画している。 ・地域の皆様のつなぎ役としての役目を果たしていく。昨年度の活動をさらに発展させ、来館される方が公民館に来ることを楽しみにしていただけるよう工夫していく。また、より多くの地域の皆様に公民館を知っていただき、足を運んでいただけるように積極的に発信していく。具体的には地域移行クラブと地域住民のかかわりの場のコーディネートとして、こいのぼりコンサートでの合唱クラブ参加、等を計画している。	評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	C